

# 平成 28 年度 私立学校 中堅教員 (10 年経験者等) 研修会 [ 東 日 本 ] 実 施 案 内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所  
後援 日本私立中学高等学校連合会  
後援 日本私立小学校連合会

現在、2020 年を目指して、新学習指導要領やセンター試験に代わる新しい大学入試制度など様々な教育制度改革が加速しています。しかし、実施に向けた具体案はなかなかまとまらず、問題の一部は先送りされているのが実情です。こうした中で、いま学校は、すでに入学した生徒たちが数年後にはこうした新しい局面に立ち向かわなければならないこと、あるいはこれから入学する生徒たちに対して今後の自校の教育指針をはっきりと示さなければならないことなど、多くの困難を抱えています。

これらの問題への最終決断は、理事長・校長などに委ねるとしても、学校が今後を見据えて日々の教育活動を展開するには、教科・学年・分掌などの中心となる中堅教員の先生方の果たす役割が極めて重要になります。中堅教員の先生方は、こうした流れの中であって、自校の建学の精神を継承しながらこれからの学校づくりを推進し、また若い先生方を指導しながら教員集団をまとめていかなければならないからです。

そこで今年度の中堅教員研修会は、これからの教育がどのような方向を目指しているのかについて最新の知見をご紹介し、参加くださった先生方が各校に持ち帰って学校現場のミドル・リーダーとして活躍いただけるよう、4 つのテーマを設けました。

1. 〈私立学校の現状と課題〉では、加速する教育制度改革の最新情報をご提供するとともに、これから私学各校の建学の精神をどのように継承し、活かしていくかについて考えます。
2. 〈中堅教員のマインドセットと教育者としてのミッション〉では、学校マネジメントの視点から中堅教員の役割と私学教員の今後の展望について、講義とワークショップを通じて研修します。
3. 〈学校教育における合理的配慮の提供について〉では、学校現場における「合理的配慮」の問題を念頭に、具体的に求められる対応に今後の私学教育の在り方を重ね合わせながら考察します。
4. 〈アクティブ・ラーニング〉では、いまや教育のあらゆる場面に登場するアクティブ・ラーニングをもう一度根源から問い直します。班別討議や ICT の導入だけでは、生徒を本来の「深い学び」に導くことはできません。新指導要領の核を成すアクティブ・ラーニングについて、もう一度理論から実践例まで確認します。

二日間の限られた時間ではありますが、講義・ワークショップ・討議・情報交換などのプログラムを通じて、先生方が私学教員としての活力と鋭気を養い、また今後につながる私学教員間のネットワークづくりをしていただければ幸いです。多くの方々の参加をお待ちしています。

**会 期** 平成 28 年 7 月 27 日 (水) ~ 7 月 28 日 (木)

**会 場** 主婦会館プラザエフ 9 階「すずらん」

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15

**参加対象者** 全国の私立小学校・中学校・高等学校・中等教育学校に在職する中堅本務教員 (10 年経験者等) で学校長が推薦する者

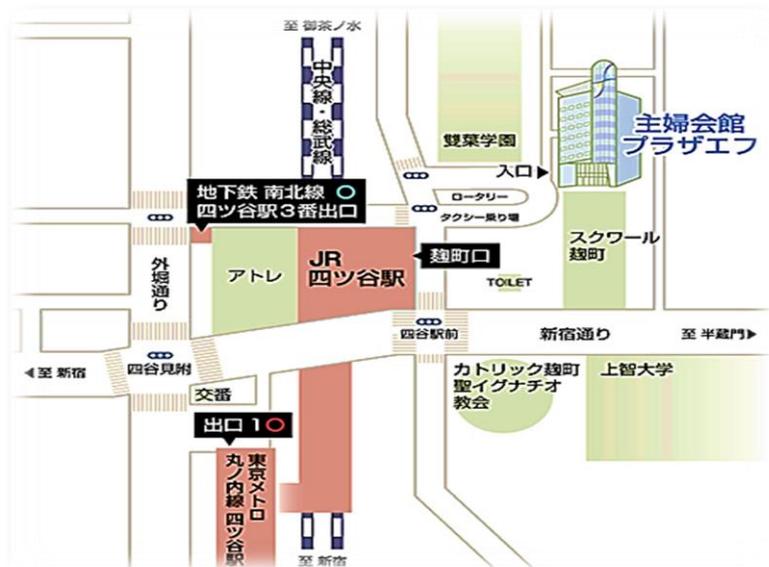
**募集定員** 100 名

【 日 程 】

実施時間		内 容	
7 月 27 日 (水)	10:30~11:00	受付	
	11:00~11:20	開会式	
	11:30~12:40	研修 1	講義 「私立学校の現状と課題」 講師 中川 武 夫(一般財団法人日本私学教育研究所所長)
	12:50~13:50	昼食 休憩	(参加者交流会を兼ねる)
	14:00~17:00	研修 2	講義とワークショップ 「中堅教員のマインドセットと教育者としてのミッション」 講師 堀 井 章 子(学校法人堀井学園総合企画室室長)
7 月 28 日 (木)	9:00~10:30	研修 3	講義 「学校教育における合理的配慮の提供について ー障害を理由とする差別の解消の推進に向けてー」 講師 宮 崎 英 憲(東洋大学名誉教授)
	10:40~11:50		グループ討議(講義を踏まえて)
	12:00~13:00	昼食 休憩	(参加者交流会を兼ねる)
	13:10~16:00	研修 4	講義とワークショップ 「アクティブ・ラーニング ーアトリエから事例までー」 講師 上 杉 賢 士(日本 PBL 研究所理事長)
	16:00~16:30	研修 5	研修のまとめ
	16:30~17:00	閉会式	

※ 運営の都合上、日程の一部が変更になる場合もありますので、予めご承知おきください。

※ 西日本(8月3日~4日 大阪市)でも、同じ内容で開催します。ご都合のよい方で参加いただけます。



- JR 四ッ谷駅 麹町口前 (徒歩 1 分)
- 東京メトロ南北線/丸ノ内線 四ッ谷駅 (徒歩 3 分)
- 東京駅からのアクセス  
JR 中央線快速で四ッ谷駅 (約 10 分)
- 羽田空港からのアクセス  
東京モノレール快速で浜松町 → JR 山手線 (内回り) 神田 → JR 中央線快速で四ッ谷駅 (約 40 分)

## 参加申込方法

- ① 参加申込書に必要事項を記入し、日本私学教育研究所へ郵送またはFAXでお送りください。  
申込締切 平成28年7月13日(水)  
※締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。

送付先・問い合わせ先

一般財団法人日本私学教育研究所 中堅教員研修係

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683

担当 福島香代 E-mail [fukushima@shigaku.or.jp](mailto:fukushima@shigaku.or.jp)

- ・参加申込書は、お一人一枚ご記入ください。複数名参加の場合はコピーしてください。
- ・参加申込書及び実施案内は、当研究所ホームページよりダウンロードすることもできます。

当研究所ホームページアドレス <http://www.shigaku.or.jp>

- ②参加申込書が届きましたら、参加確認証および指定払込書を学校長あてにお送りいたしますので、参加費を日本私学教育研究所あてに送金してください。

**参加費: 16,000円(両日の昼食費を含む)**

- ・指定払込書の「振替払込金受領書」をもって領収書にかえさせていただきます。別途、領収書が必要な場合には、上記「中堅教員研修会係」までご連絡ください。
- ・研修会に不参加の場合、いったん納入された参加費用は全額返金できないことがあります。また返金の精算は研修会終了後となりますので、ご了承ください。

## 参加に際してのご注意

1. 参加確認証…参加確認証は、参加者本人が持参し、研修会当日に受付にご提示ください。前々日までにお手元に届いていない場合は、上記「中堅教員研修会係」に電話でご連絡ください。
2. 持参品…筆記用具、健康保険証。なお第一日目は会場内のwi-fi環境を利用してワークショップを進める予定ですので、PC、タブレット、スマートフォンなどの機器をご用意ください。
3. 受講中の服装…ご指導いただく先生方に失礼のない服装で受講してください。
4. 来場方法…駐車場は用意していませんので、公共交通機関をご利用ください。
5. 本研修会の研修期間中、参加者等の傷害保険には主催者として加入しておりませんのでご承知おきください。

## 個人情報の取り扱い

当研究所では、研修会に参加される方の個人情報は厳重に管理・保護し、その取扱いについては、法令その他の規範を尊重し、細心の注意を払っております。参加申込書にご記入いただいた個人情報は、「参加確認証」及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿作成、当研究所の各種研修会開催等のご案内の送付、また何らかの理由で研修会に参加される方に連絡を要する事態が生じた場合のみに利用いたします。

送付先 日本私学教育研究所 FAX番号 03-3222-1683 ※送信状は不要です

【申込締切日：7月13日(水)】

平成28年度 中堅教員(10年経験者等)研修会 東日本 参加申込書 [121- ]

- ・太線枠内に必要事項を記入、または該当する事項に○印をしてください。
- ・※の項目は、実施要項の参加者名簿に記載します。他は研究所が統計上の記録・調査に使用します。
- ・申込は一人につき一枚の申込書を使用してください。同一校から複数名でお申し込みの場合は、用紙をコピーしてご利用ください。

※都道府県名		※学校名	
学校所在地 〒			
		TEL	FAX
ふりがな ※参加者氏名		男・女 年齢( )	緊急連絡先 (自宅・携帯電話番号等連絡が取れるところ)
職名 ○で囲んでください 教諭・講師(常勤・非常勤) その他( )		※教科	担当科目 校務分掌(委員会)
教職経験の有無(職名を問わず) 現勤務校に( )年・一年未満 それ以前に、私立学校 年・公立 年		教職以外の就業経験 有( )年間・無	
現在のクラス担任 有(小・中・高 年生)・無		現在担当のクラブ活動 有( )・無	
メールアドレス : 当研究所からの研修会案内等のメール配信希望の方は、メールアドレスをご記入ください。(携帯電話のメールは不可)			
一般財団法人 日本私学教育研究所 御中		平成 28 年 月 日	
上記の通り申し込みます。			
学校長氏名			印
【通信欄】			

- 参加費の送金について
- ・この申込書をお送りいただいた後、「参加確認証」と「指定払込票」を送付いたしますので、期限までに「指定払込票」を使って参加費の送金をお願いいたします。
- ・「指定払込票」の「払込金受領証」をもって領収書にかえさせていただきます。